

こどもがひとりの人間として尊重される社会をめざし、鑑賞とあそびを通して、生きる知恵と力を育てます。

## 今年も 14 冊の「世界で一つだけの絵本」 が出来上がりました！

10月～12月（会場：富勢西小学校）

今年も「世界でひとつだけの絵本づくり」が終わり  
ました。

私の担当したグループには、2 回目の子が 2 人  
いました。一人は女の子（4 年生）。前回は死んで  
しまうところから始まります。それも血だらけで  
…。地獄をさまよひ、最後には死ぬ前と同じ時  
刻・同じ場所に戻ってハッピーエンド。もう 1 人  
は、男の子（2 年生）。魚釣りが大好きで、タイ  
トルは「たのしい魚釣り 2」。裏表紙のデザイン  
も 1 冊目と同じにして、シリーズを意識していま  
した。

2 人とも、「Vol.3 をつくりたい！」と言ってくれ  
ました。

どんな手順で作るかもわからない、どんな素材で  
作るのかもわからない「はじめて尽くし」の中、  
ストーリーや絵を限られた短い時間の中でちゃ  
んと表現できること、本当にすごいと思います。  
6 ページの絵本、自分の思いを込めて作ったもの  
に、スタッフが見返しをつけ、表紙には透明の力



表紙を貼る

バーを貼り子  
ども達へ手渡  
します。  
大切そうに受  
け取り、でき  
あがった絵本  
を改めて 1 ペ

ージ 1 ページ読み進んで行く時の子ども達の顔  
も何とも言えません。

その時のキラキラした笑顔は、毎回こちらまで嬉  
しくなります。（T）

### ◆放課後子ども教室（土曜講座） 一人ひとりを大切に

柏市放課後子ども教室として 9 年、その前の地域  
子ども教室と合わせて 12 年間、NPO こどもス  
ペース柏は子どもたちが自分を表現する場とし  
て「世界で一つだけの絵本をつくる」講座を行っ  
てきました。子どもたちが思い思いに作成した絵  
本はこれまでに 300 冊を超えました。

放課後子ども教室には平日の放課後に行われて  
いる「ステップアップ学習会」と土曜日に行われ  
る「土曜講座」があります。いずれも、地域の大人  
が先生役となり子どもたちとの時間を過ごし  
ます。

学習習慣  
と学習意  
欲の向上  
を目的と  
した「ステ  
ップアッ

連載 明橋先生の  
子育てハッピーコラム⑩  
（3 面）

「心を育てるうえ  
で、大切なことは、  
依存と自立を、認め  
ることだけ」ほか



中学生以上対象鑑賞会 決定！！

### 『松元ヒロソロライブ』

9月21日（水）19:00 開演  
アミュゼ柏 クリスタルホール  
チケット代未定 ※小学生以下入場不可  
お問合せは事務所まで

「プ学習会」に対し、土曜講座は学校ではなかなか取り組めない自然や文化芸術体験を子どもたちに届けるものです。



最後にみんなで記念写真

私たちの「世界で一つだけの絵本をつくる」は各自が一冊の絵本を作成する講座ですが、その根底にある目的は子どもたちの自己肯定

感を高めることです。

最終日には自分の作品を全員の前で披露しますが、その発表の様子には各自の作品への愛情があらわれています。ストーリーも絵も全くのオリジナル。他の参加者の子どもたち、講師スタッフ、発表会を見に来てくれた保護者の方々からは感嘆の声や笑いや拍手。自分が表現したものが認められる体験は大きな自信になります。

学力の大切さは言うまでもありませんが、学力が積み重ねられる土台は自分を大切に思う気持ち“自己肯定感”です。

しっかりと自己肯定感という土台があってこそ学習意欲や公共心が育つのです。

これからも子どもたちにとって最も大切な“自己肯定感”を育むものとして「世界で一つだけの絵本をつくる」講座を続けていきたいと考えています。(N)



親子でアウトドア体験

デイキャンプっていいな！

NPOこどもすぺーす柏では、夏の二泊三日の親子キャンプのほか、春や秋には気軽に参加できるデイキャンプを行っています。今秋は11/8(日)、雨のデイキャンプでしたが、みんな最後まで元気

でした。

参加するのは、子どもだけでなく、大人も傍観者ではなく、調理もあそびも一緒に楽しめます。

子どもと大人が本気であそび合う楽しさは子ども時代の宝物です。

読者の皆さんは、子どもと一緒にあそんでいますか？

◆11月8日(日) 9:30~15:00

手賀の丘公園キャンプ場

(午後はどんぐりの家集会所)

初めての方、リピーター家族、そのお友達。スタッフ含め49名の一日のはじまり、はじまり～！集合場所からキャンプ場までは、森の中のお散歩気分。並んで歩きながら、お喋りもはずみます。さっそく遊びたいけど、まずは調理。けんちん汁の大根や人参のいちよう切りはできても、里芋のぬるぬるやごぼうのささがきは初めてという子ども。二人羽織のようにつきっきりのお母さん、けっこうお任せのお母さん、子育ての姿勢も垣間見られて興味深い炊事場でした。2歳や幼稚園児も炊き込みご飯のきのこをほぐしたり、浅漬けをもみこんだりと、手を使った作業をたくさん体験。お父さんたちはかまどを担当。湿気が多くて苦労しましたが、子どもたちに風を送ってもらいながら、奮闘してくれました。お鍋を火にかけてからはゲームタイム！お風呂ゲームやじゃんけん大会、かかし競争で盛り上がりました。食事中にタープにたまった雨水がふいに滝になって落ちるのにも、子どもたちは大はしゃぎ！

食後の焼マッシュマロや焼き芋を堪能したら、どんぐりの家で遊びます。雨で動けなかった子どもたちのエネルギーが爆発！ハンカチ落としでは

スライディング続出、手をつないでの以心伝心ゲームも(p.4へつづく)



父子で下ごしらえ



# 明橋先生の 子育てハッピーコラム⑩

## 心を育てるうえで、大切なことは、 依存と自立を、認めること だけ

『見逃さないで！ 子どもの心の  
SOS 思春期にがんばってる子』  
(1万年堂出版)より



**手のひらの中の卵は、きつく握りすぎると壊れてしまいます。**

**手を広げすぎると、転がって地面に落ちて、やはり壊れてしまいます。  
子どもの心も同じです。**

心を育てるうえで、大切なことは、子どものペースで、依存したり、自立したり、甘えたり、反抗したり、ということ、認めることです。これ以外には、必要ありません。これさえやれば、心の子育ては、十分です。ですから、親御さんには、このことだけ、知っておいてください、と言っています。

逆にいえば、子どもの依存を受け入れない関わり、子どもの自立を否定する関わりにならなければ、大丈夫だ、ということです。

子どもの依存を受け入れない子育ての極端な形を、放任とか、ネグレクト（放置）、あるいは無関心といいます。子どもを突き放す関わりです。

逆に、子どもの自立を否定する関わりを、過保護、過干渉、あるいは、否定、抑圧、といいます。子どもができることを、大人が手を出して、

子どもにやらせなかったり、「できるはずないだろう」と子どもを否定し、抑えつける関わりが、その最たるものです。

このことを、分かりやすくした例えがあります。「掌中の珠」という言葉がありますが、私はこれを少しアレンジして、手のひらの中の卵、と言っています。

手のひらの中の卵は、あまりきつく握りすぎると、壊れてしまいます。それと同じように、子どもの心も、あまりきつく縛りすぎると、壊れてしまいます。過干渉、抑圧しすぎると、子どもの心は壊れてしまうのです。

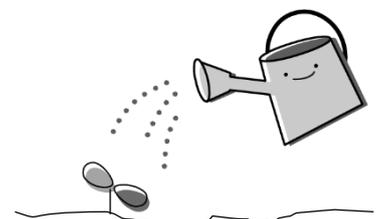
逆に、あまり手を広げすぎると、卵は、ころころと転がって、手のひらから地面に落ちて、また、壊れてしまいます。同じように、子どもの心も、あまり手を放しすぎると、ころころとどこかに転がって、壊れてしまいます。あまりに放任、突き放すような対応が続くと、また、子どもの心は壊れてしまうのです。

放しすぎもせず、締め付けすぎもせず、ほどよい力で、そっと支え続けること、それが、一番大切だ、ということです。

### ■プロフィール

明橋 大二（あけはし だいじ）

心療内科医、真生会富山病院心療内科部長、児童相談所嘱託医、スクールカウンセラー。著書『なげ生きる』（共著）『輝ける子』『子育てハッピーアドバイス』ほか多数。子どもの権利条約に基づき、子ども支援の様々な活動・啓発を行う NPO「子どもの権利支援センターぱれっと」理事長としても活躍なさっています。



(p.2 から) だんだんタイムを縮めることができ、あっという間に時間が過ぎました。雨でも楽しかった！ との感想が聞かれ、みんなで遊べばお天気は気にならないんだと実感！ 遊びの本質を感じられた？ 今回のデイキャンプでした。



## 感動は心を育てます

12月6日(日) およこ舞台鑑賞会

名古屋の劇団「そらのゆめ」による、「おどりあそび」「カメジローのおつかい」。ほぼ定員いっぱいの子で盛り上がりました。2人の役者さんが舞台いっぱい動き回り、始めから終わりまで、大笑いの舞台でした。

でも笑うだけじゃない、「遅すぎるなんてことはない、ゆっくり



会場の様子

でも自分らしく歩めばいいんだね」というメッセージも伝わったと思います。



## 中央公民館 家庭教育講座 に協力

12月2・9日(水)

「シャカシャカシャガール」

高柳近隣センター



先生、できた！

中央公民館と毎年1回、家庭教育講座を連携して行っています。今年で4回目になりました。今年初めて、

中央公民館を飛び出し「出前講座」として旧沼南地区の高柳近隣センターを会場にしました。

いつもに比べて南部からの参加者が多かったように思います。

今回も会の理事であり臨床美術士が講師となり、「リンゴの量感画」「冬色コレクション」の2回の講座を行いました。

子どもには好きなように絵を描かせてあげたいけれど、家ではなかなか落ち着いて絵を描く時間が取れない親子にとって、楽しい時間になったのではないのでしょうか。

臨床美術は、上手に描くことを目指してはいません。アートに正解はありません。どんな絵、どんな色でもいいのです。一人ひとりの感性は違うので、同じように仕上がる必要はありません。

こういった考え方が私たちの会とマッチしていると感じます。自由に思ったままを表現できる体験が積み重なって、子どもたちが自分の存在を肯定でき、安心して過ごせるようになればいいと思います。ママたちも「どれが正解か」を常に求める子育てのストレスからいっときでも解放され、自分自身や目の前の子どものありのままを認める大切さに気付いてほしいと思っています。



りんごの量感画

こうしてできあがった作品を、参加者・スタッフのみなどで鑑賞し、個性(ほかの人と違う

ところ)をほめます。スタッフも参加者にどのような声かけをしたらいいか、常に話し合っています。

今年はこども図書館での展示を急ぎよ決め、年末年始にかけて行いました。

お家で飾るのも嬉しいけれど、多くの人目に触れることで誇らしい気持ちも味わえたと思います。

# 理事長の徒然

井野口典子

十一月末から一月下旬まで、第二子出産のため娘が里帰りしていました。毎週末と年末年始、娘の夫も柏に来て過ごしたのですが、その間に三歳になった上の子への接し方については感心させられました。

月曜日の朝は我が家から直接会社へ出かけるのですが、その玄関でのやりとり。また週末まで会えないパパに向かって「パパお仕事行かないで」と半泣きの子に「パパも○○ちゃんと遊んでいたいよ。だけどね、パパお仕事がんばってくるからね。」なんとやさしい会話でしょう。パパも○○ちゃんと同じ気持ちだよ。こう言われることで孫の気持ちはどれだけ満たされて安心したことでしょうか。

またある日は、赤ちゃんを産んだママを労うためにケーキを作ると言い出し、お菓子など一度も作ったことがないのに、突然いちごタルトを作り出したのです。孫と一緒にまるで砂遊びか粘土遊びをするように。できるかどうかできないかと考えるより、やりたいと思っただけでやってみる。これぞ、子ども心。私が思う良い親とは、子どもに気持ちに共感できること、子どもも心遊び心を忘れていないこと。この二つを見事に持っているパパです。

それは、もともとの性格に加え、娘の子育てが影響して培われたらしいです。娘の子育てのバイブルは、本紙三面に「子育てハッピーコラム」を連載していただいている明橋先生の「日めくり 子育てハッピーカレンダー」。もう四年ほど我が家のトイレに掛けてあり、娘が来るたびに繰り返し見ている子育てアドバイスです。

- ・一日 「がんばれ」より「がんばってるね」と認めるほうがいい。
- ・二日 「ありがと」「助かったよ」「嬉しいよ」という言葉をどんどん使しましょう。
- ・五日 大人が、もう一度、遊び心を取り戻すこと。それがそのまま、子どものやる気を育てることになるのです。
- ・十七日 私たちは、子ども時代の「甘え」をもっと肯定するべきです。甘えは、人への信頼と思いやりを育みます。

今日も三歳の子どもが虐待で「くなくなった」というニュース。「しつけ」「うんち」「お風呂」など、私たちは、殴る蹴るなどはしないまでも、子どもに気持ちを受け止める前に社会のルールを押し付けたりはしてないだろうか…。

ちなみに、いちごタルトは見た目もお味も最高でした。

## Cha Cha Cha

早いもので、もう節分です。

昨年より暖かい日が続いていましたが、大寒ともなるさすがに寒くなりました。

そろそろ卒業、進学、進級の季節ですね。

エレクトーンを習いに来ているY太、ボーカロイド（ボカロ）大好き。

「千本桜」を弾いてみたいと言ったのは四年前。

私は彼を通してボカロの曲やYouTubeにアップされている音楽に出会いました。

そんなゲーム好きなY太も四月から中学生。

先日も「今日は二時間目の習字の道具を忘れたから、保健室で寝た」

「二時間目から四時間目まで寝たから、給食になるよって先生が迎えに来たよ」「そんなに寝て大丈夫なの?」

「朝から、頭痛いって言ってあったから、大丈夫」

「へー」「保健室の先生も何も言わないの?」

「本当に具合悪い人がきたらベッドあけてね、って言われた」

なるほどね、

Y太、中学になって大丈夫かなあ、心配してしまふ今日この頃です。

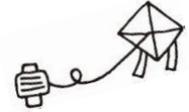
## 《こどもすぺーす これからの予定》

2月						
月	火	水	木	金	土	日
1 理事会	2	3 子育て支援部会 イオンおはなし会	4	5 鑑賞部会	6	7
8	9	10	11	12	13	14 「土っ手もたのしい会」会議
15	16	17	18	19 理事会	20	21 あそび部新年会
22	23	24	25 SU学習会	26	27	28
29 会費受付日						

### 土っ手もたのしい会

3月6日(日) 10:00~14:00  
(受付 9:45~)  
布施弁天裏の土手

申込み・問合せ  
こどもすぺーす事務所へ電話で



### 今後の鑑賞会の予定

おやこ舞台鑑賞会 (No.59)  
作品未定  
2016年7月9日(土)  
アミュゼ柏 1F プラザ

舞台鑑賞会  
「松元ヒロソロライブ」  
2016年9月21日(水) 夜  
アミュゼ柏 クリスタルホール

おやこ舞台鑑賞会 (No.61)  
「みてても、いい？」  
(ひつじのカンパニー&くわえば  
ぺっとステージ 合同作品)  
2017年1月14日(土)  
アミュゼ柏 1F プラザ

3月						
月	火	水	木	金	土	日
	1	2 子育て支援部会	3	4 理事会	5	6 土っ手もたのしい会
7 幼稚園造形教室	8 幼稚園造形教室	9	10	11 幼稚園造形教室	12	13
14	15	16 理事会	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30 会費受付日	31			
は事務所は開いていません						

~~~~~ 【皆様のご協力を】 ~~~~~

★**会員になる** 会の活動に参加する、子どものための活動を行う  
正会員 入会金 1,000 円 月会費 1,500 円 (家族会員は年会費 500 円)

★**賛助会員になる** 会を資金で支える  
個人一口 3,000 円/年 法人一口 10,000 円/年

★**柏市民公益活動促進基金(柏・愛らぶ基金)に寄附する**  
税負担が軽減されます(本文記事参照)

~~~~~ 振込先：郵便振替 00160-3-684258 ~~~~~

記載されているすべてのイベント・内容については、事務所までお問い合わせ・お申込みください。  
または会のブログ <http://kodomospace.sblo.jp/> をご覧ください。